

[前画面へ戻る](#)

④ 科目名	メディアと市民社会
④ 科目名(英訳)	Media and Civil Society
④ 科目ナンバー	HM313C01
④ 詳細情報	授業外学修時間:週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	王 昊凡
④ 単位数	2
④ 開講学年	2年
④ 開講セメスター	秋期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択:HM
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	
④ 担当者及び時間割	
④ カリキュラムの中での位置付け /DP(ディプロマ・ポリシー)	<p>学科専門教育科目の中のメディア情報社会基盤科目のうちの理論応用科目として位置づけられる。理論応用科目は、基礎的理論を踏まえて、メディアと情報の関係、メディアと社会の関係を扱う応用的科目群である。本講義は、メディアと市民社会の関係をめぐって、国内外で争点となっている事例について自分の意見を持ち、解決するためのプロセスを構築し、立案する力を培うための科目である。</p> <p>【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ③:○ ④:◎</p>
④ 身につく基礎力 / 身につく汎用力	/ 国際的な視野 協調性・協働性(公益心) 実行力

④ 授業の主旨 (概要)	この講義では、様々な社会運動や文化における抵抗を見ていくことで、現代の私たちの身近にある政治的問いかけについて検する。その際には、地域、日本、国際的な文脈で、様々な話題を取り上げます。講義を通じて、メディアと政治に関する理論や方法、歴史、事例について、広く理解していく。																						
④ 具体的 達成目標	授業で用いる主な理論や概念を説明することができる。過去または現在の様々な社会運動や文化における抵抗に関するトピックについて、学んだ理論を適切に活用して説明することができる。																						
	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>【内容】 オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 身の回りにある社会問題について考えてみましょう。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>【内容】 歴史——社会運動の現代史</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 「新しい社会運動」の特徴について復習しましょう。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【内容】 感情——なぜ参加するのか、いかに参加するのか</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 感情表現の持っている力について考えてみましょう。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>【内容】 労働——働き方への異議</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 自身が働くということについて考えてみましょう。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>【内容】 学問——大学からその外へ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【授業外学習】 思い浮かぶ「公的知識人」を1人挙げ、その人物について調べてみましょう。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>【内容】 消費生活——生活の中の抵抗</td> </tr> </table>	1	【内容】 オリエンテーション		【授業外学習】 身の回りにある社会問題について考えてみましょう。	2	【内容】 歴史——社会運動の現代史		【授業外学習】 「新しい社会運動」の特徴について復習しましょう。	3	【内容】 感情——なぜ参加するのか、いかに参加するのか		【授業外学習】 感情表現の持っている力について考えてみましょう。	4	【内容】 労働——働き方への異議		【授業外学習】 自身が働くということについて考えてみましょう。	5	【内容】 学問——大学からその外へ		【授業外学習】 思い浮かぶ「公的知識人」を1人挙げ、その人物について調べてみましょう。	6	【内容】 消費生活——生活の中の抵抗
1	【内容】 オリエンテーション																						
	【授業外学習】 身の回りにある社会問題について考えてみましょう。																						
2	【内容】 歴史——社会運動の現代史																						
	【授業外学習】 「新しい社会運動」の特徴について復習しましょう。																						
3	【内容】 感情——なぜ参加するのか、いかに参加するのか																						
	【授業外学習】 感情表現の持っている力について考えてみましょう。																						
4	【内容】 労働——働き方への異議																						
	【授業外学習】 自身が働くということについて考えてみましょう。																						
5	【内容】 学問——大学からその外へ																						
	【授業外学習】 思い浮かぶ「公的知識人」を1人挙げ、その人物について調べてみましょう。																						
6	【内容】 消費生活——生活の中の抵抗																						

④ 授業計画		【授業外学習】	消費被害について考えてみましょう。			
	7	【内容】	環境保護——環境運動、エコな消費			
		【授業外学習】	環境問題とグリーン・ウォッシュの事例について考えてみましょう。			
	8	【内容】	演劇——社会劇という方法			
		【授業外学習】	演劇やパフォーマンスが社会変革へ与える影響について考えてみましょう。			
	9	【内容】	装い——ファッションから考える			
		【授業外学習】	自身の「装い」と社会とのかかわりについて考えてみましょう。			
	10	【内容】	ダンス——保守化への抵抗			
		【授業外学習】	ダンスによる抵抗について考えてみましょう。			
	11	【内容】	記憶——歴史を問い直す			
		【授業外学習】	記念碑をひとつ取り上げ、その由来について調べてみましょう。			
	12	【内容】	キャンプ——グローバリゼーションを問う			
		【授業外学習】	日本におけるサミット報道について調べてみましょう。			
	13	【内容】	健康——身体の管理から考える			
		【授業外学習】	身体／健康の管理について考えてみましょう。			
14	【内容】	ハッキング——公共空間をハックする				
	【授業外学習】	街中の落書きについて、どんなことが書かれているか調べてみましょう。				
15	【内容】	まとめ				
	【授業外学習】	社会運動にどのようなイメージがあるか考えてみましょう。				
④ 授業方法	講義形式で行う。毎回の小課題については授業内でフィードバックする。					
④ 成績の評価方法	毎回の小課題(45%)、期末課題(55%)					
④ 成績の評価基準	満点を100点とし、上記の60点以上を合格とする。なお、授業への出席が3分の2に満たない場合は欠格とする。					
④ 教科書						
④ 参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『社会運動の社会学』	大畑裕嗣、成元哲、道場親信、樋口直人	有斐閣	2,750円	9784641280922
	2.	『「デモ」とは何か——変貌する直接民主主義』	五野井郁夫	NHK出版	1,045円	9784140911907
④ 備考	教科書は特に使用せず、毎回テーマに沿った参考図書を紹介する。					
④ 関連ホームページ						
④ メールアドレス	王 昊凡 scx5753@fsc.chubu.ac.jp					
④ オフィスアワー						

[前画面へ戻る](#)